

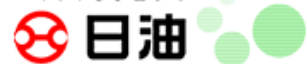
業績説明会資料

経営の現況について

2009年5月28日

 **日油** 株式会社

バイオから宇宙まで



日油グループの目指す分野

ライフサイエンス分野

新型ワクチン用材料

医薬用修飾剤

再生医療用材料

化粧品用材料

医薬用安定剤

健康食品

医療用栄養食

アイケア製品

食用油脂

脂肪酸誘導体

(メタ)アクリル酸誘導体

有機過酸化物

EO・PO誘導体

防衛用推進薬

産業用爆薬

電子・情報分野

光機能性材料

RFID用タグ

ハイブリッド材料

レジスト材料

Liイオン電池用
電解質材料

液晶用OC材

機能フィルム

電解液用材料

トナー用添加剤

機能性エラストマー

防錆処理剤

冷凍機用潤滑剤

環境・

エネルギー分野

固体Liイオン電池

花粉抑止剤

海洋開発機器

コア技術

新技術の開発

既存製品

新規開発品

次世代新製品

2010中期経営計画の基本方針

基幹事業の収益力強化

- ・高付加価値商品へのシフトを加速
- ・成長分野での既存品の拡販
- ・コストダウンの推進

新規事業の成長促進

- ・営業力、技術サービス力の強化
- ・研究開発力の強化
- ・先行的な設備投資

海外売上高の拡大

- ・海外市場の開発
- ・海外要員の育成

次世代新事業の創出

- ・研究開発投資の拡大
- ・研究員の拡充

事業環境は激変したが、10中計の基本方針は堅持し、着実に体質強化を進める

2008年度 連結業績

(単位: 億円、%)

	2007年度 (08/3月期)実績	2008年度 (09/3月期)実績
売上高	1,590	1,503
経常利益	102	42
売上高経常利益率	6.4%	2.8%

- 売上高は、第2四半期までは原燃料価格高騰に対応した価格是正もあり、前年度比増収を維持したが、第3四半期以降の急激な需要減と円高の影響を受け、通期では前年度比6%の減収。
- 経常利益は、期前半の原燃料価格高騰分を製品価格へ転嫁しきれなかったことに加え、第3四半期以降の急激な需要減のため、通期では前年度比59%の減益。

2009年度 想定事業環境

		2008年度	2009年度
パーム油価格 (FOBマレーシア)	US\$/MT	800	700
国産ナフサ価格	千円/KL	59	40
為替レート	円/US\$	100.8	90.0
	円/EUR	145.6	120.0

想定需要動向

上期 : 2008年度第4四半期の最悪期は脱する
ものの低水準で推移

下期 : 緩やかに需要回復

2009年度 収益力強化施策(共通)

1. 高機能材料(高付加価値商品)の拡販

基幹事業

処方、評価ソフトを付加して拡販

新規3事業

新規用途、新規顧客の拡大

2. 事業効率向上

需要に見合うコスト構造へのシフト

VA、VEの推進

既存設備の有効活用

設備投資効率UP

経費の節減

3. 次世代新事業の創出

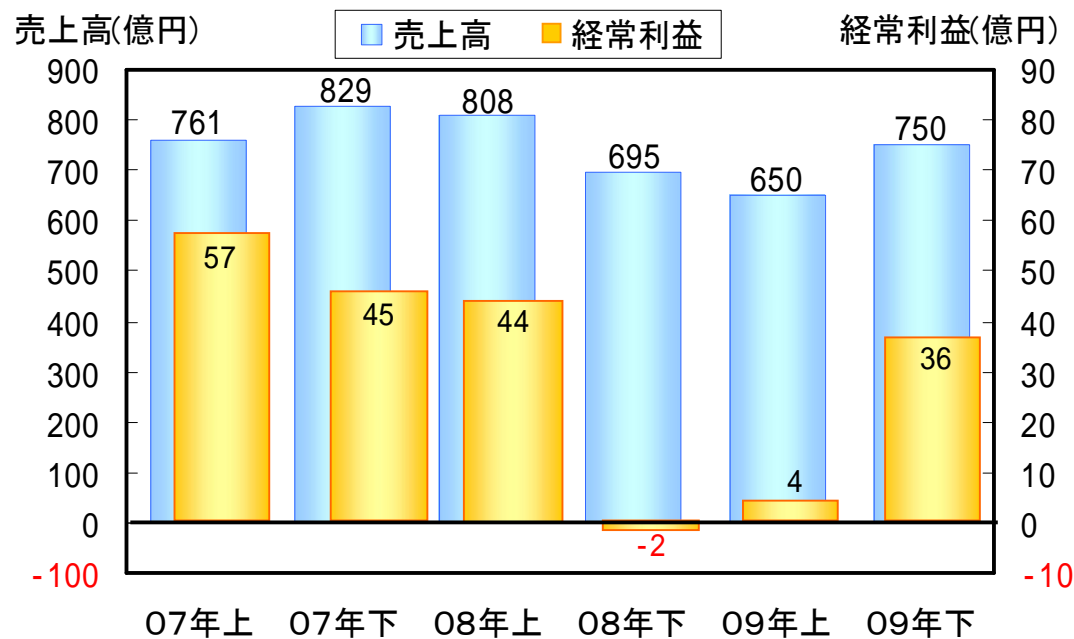
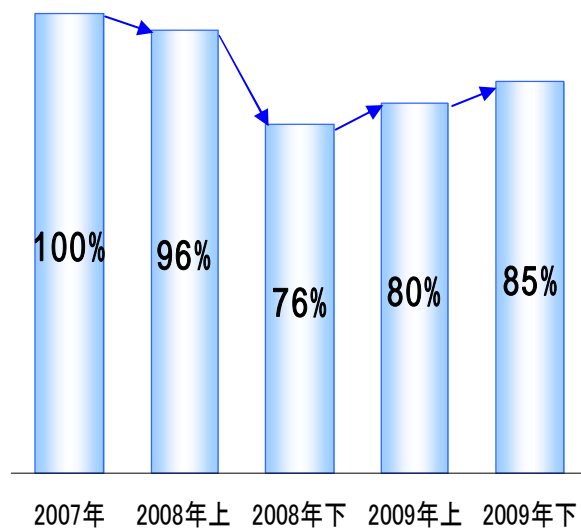
4. 適正価格維持

2009年度 連結業績の予想

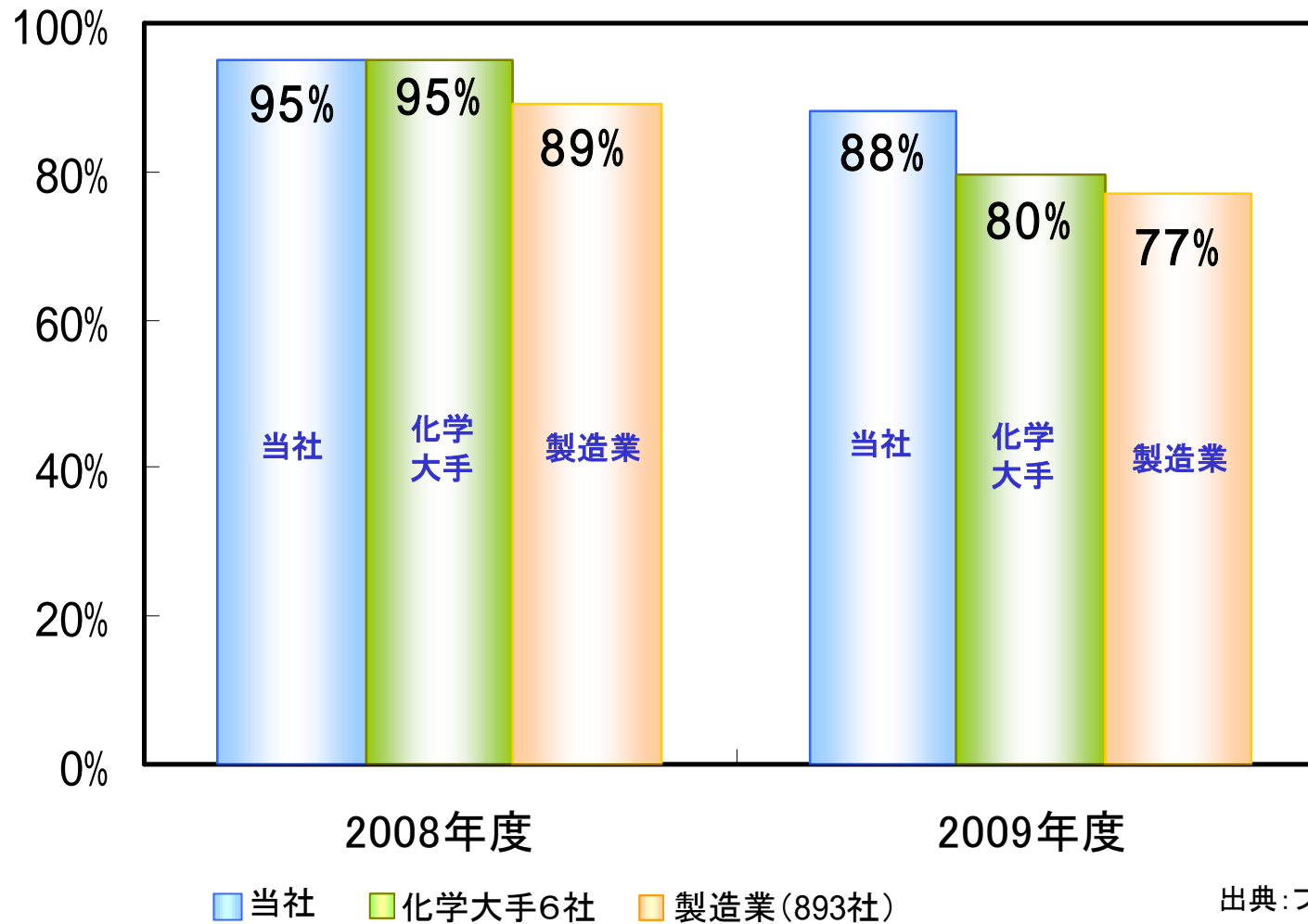
(単位: 億円、%)

	2008年度 (09/3月期)実績	2009年度 (10/3月期)予想
売上高	1,503	1,400
経常利益	42	40
売上高経常利益率	2.8%	2.9%

販売数量の推移

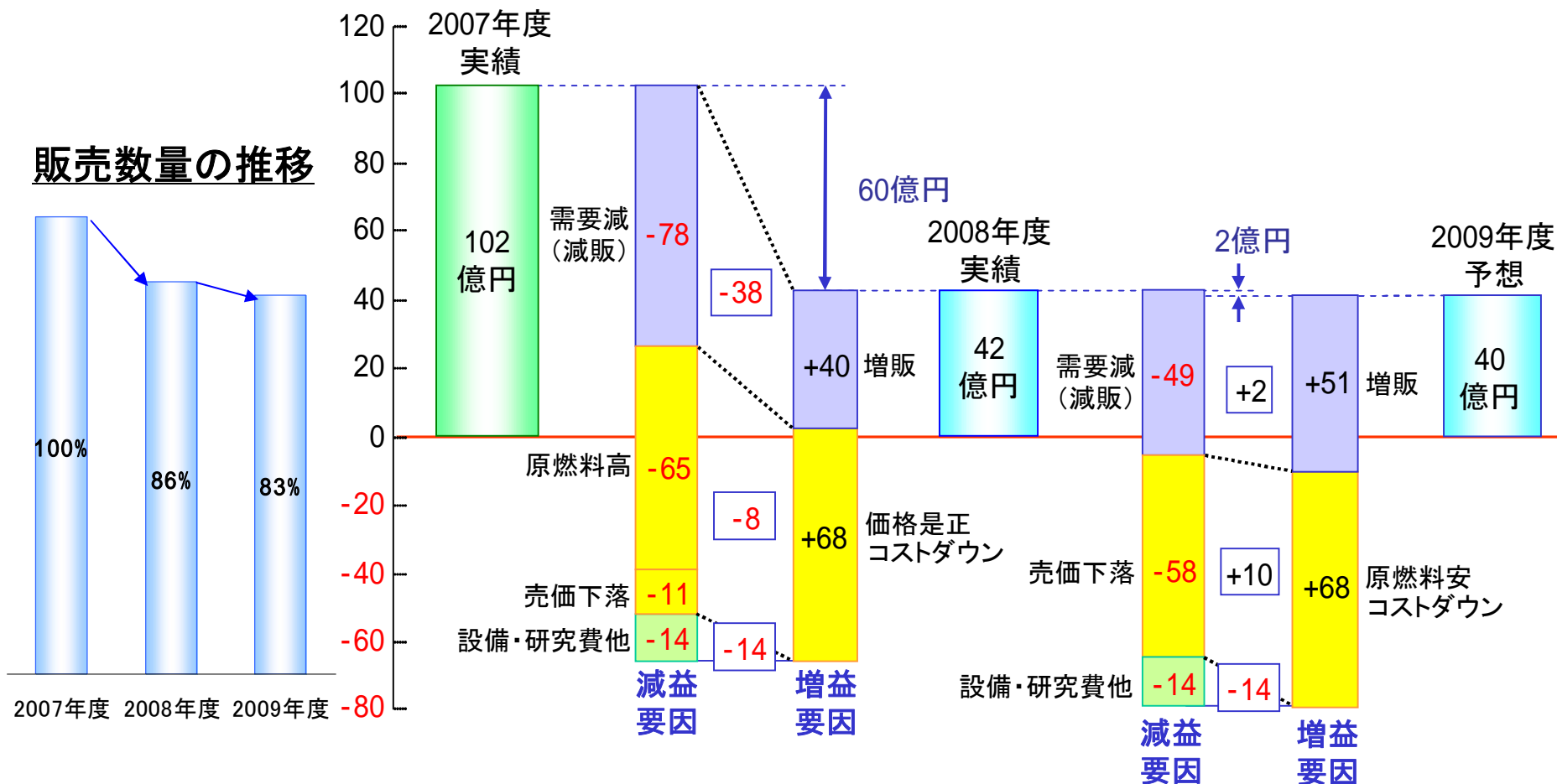


売上高:2007年度対比



出典: プレスリリースデータより

連結経常利益の差異内訳 (07実績、08実績、09予想)



日油グループの事業構成

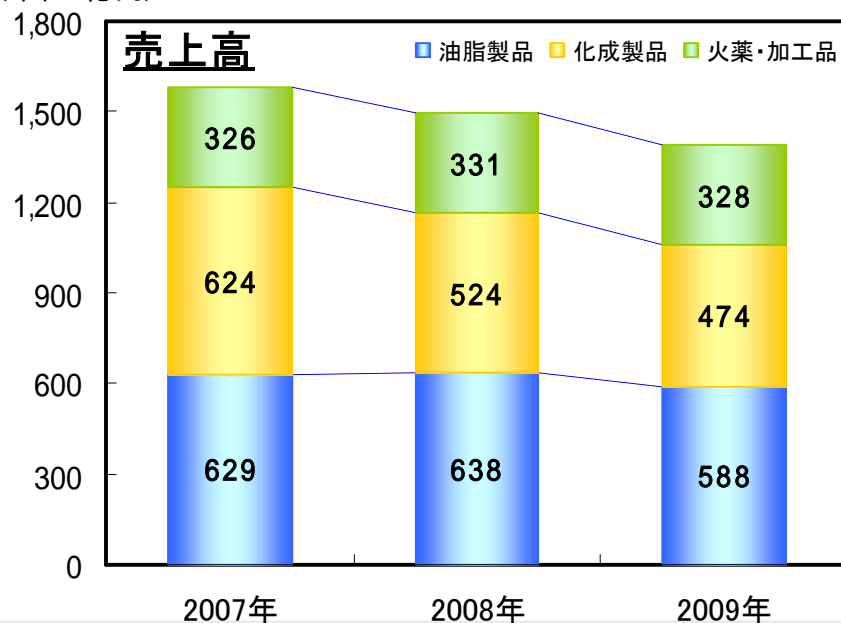
セグメント	製品分類	代表的な製品	事業分類	区分
油脂製品	食用加工油脂	マーガリン、ショートニング、機能性油脂	食品事業	基幹
	機能食品	健康食品、医療栄養食		
	脂肪酸	脂肪酸、グリセリン	油化事業	
	脂肪酸誘導体	潤滑剤、冷凍機油、トナーワックス		
	界面活性剤	洗浄剤、乳化剤		
化成製品	EO・PO誘導体	基礎化粧品原料、電子材料素材		基幹
	有機過酸化物	樹脂の重合開始剤	化成事業	
	石油化学品	ポリブテン、無水マレイン酸		
	機能性ポリマー	防曇剤、熱可塑性エラストマー		
	機能性フィルム	反射防止フィルム、書き味向上フィルム	機能性フィルム事業	
	生体適合性素材(MPC)	MPCポリマー、診断薬	ライフサイエンス事業	新規
	DDS医薬用製剤原料	PEG修飾剤、リン脂質	DDS事業	
	電子材料	液晶表示関連、高周波基板	電材事業	
	特殊防錆処理剤	クロムフリー防錆剤(ジオメット®)	防錆事業	基幹
火薬・加工品	産業用爆薬類	爆薬、雷管	化薬事業	基幹
	防衛関連製品	防衛用火薬類		
	ロケット関連製品	宇宙ロケット用固体推進薬、火工品		
	自動車用安全部品	シートベルト用ガス発生器		
	関連製品	海洋機器、防犯用関連製品		

セグメント別売上高、営業利益の推移

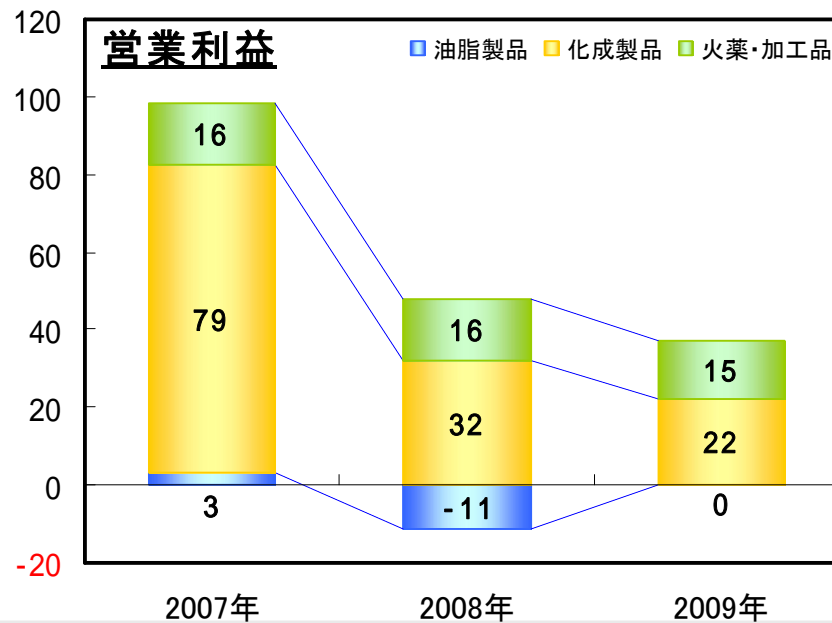
(単位:億円)

	油脂製品		化成製品		火薬・加工品	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2009年度予想 (10/3月期)	588	0	474	22	328	15
2008年度実績 (09/3月期)	638	11	524	32	331	16
2007年度実績 (08/3月期)	629	3	624	79	326	16

(単位:億円)



(単位:億円)



油脂製品セグメント収益力強化策

1. 高機能材料(高付加価値商品)の拡販

機能発現のための技術サービス力強化

①処方 ②評価ソフトの提供

- ・高機能エステル(トナー用ワックス)
- ・化粧品用基材・配合品他
- ・機能性油脂、風味油脂
- ・機能性食品(健康食品)

2. 事業効率向上

①VA、VEの推進

- 脂肪酸:国内外JVを解消し尼崎工場で集中生産
- ・インドネシアJV、千葉脂肪酸(株)

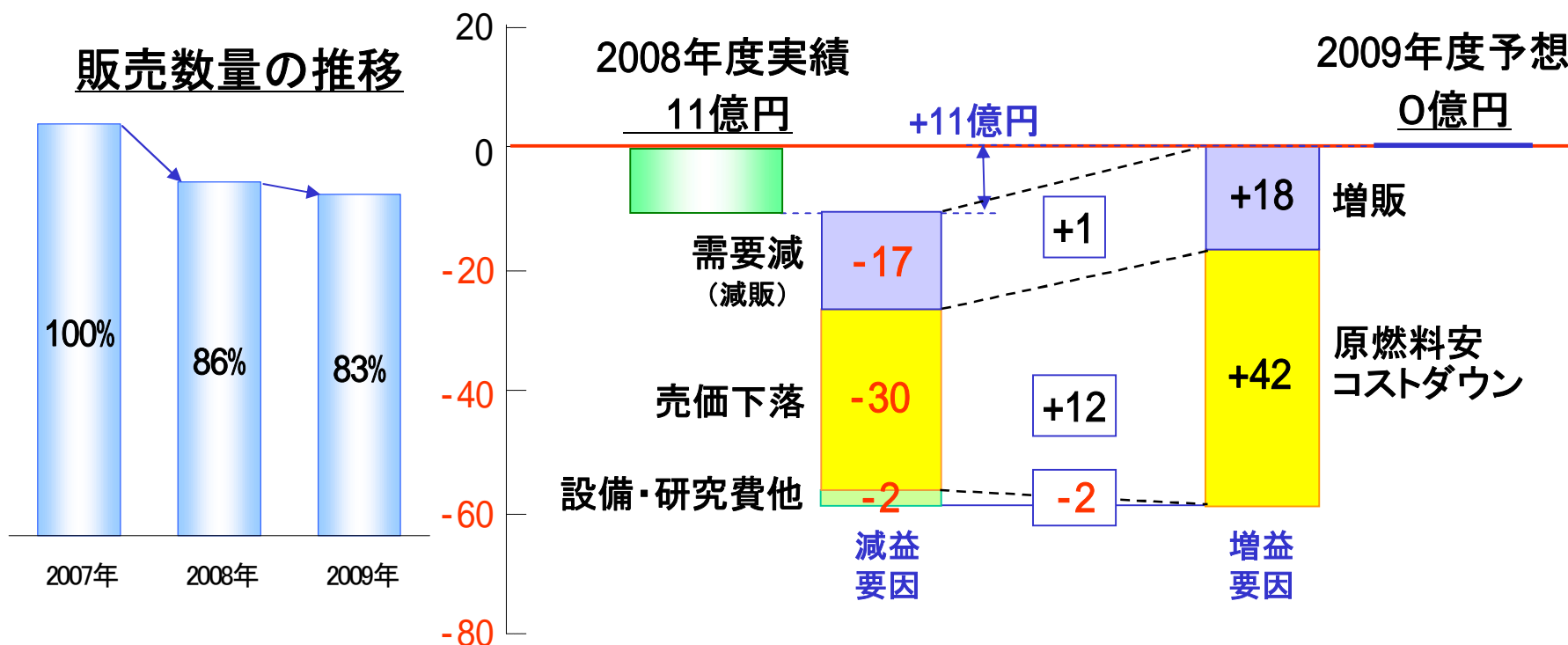
子会社の事業効率向上

- ・油化産業(株)、ニチユソリューション(株) 統合(2009.4)

④既存設備の有効活用

3. 適正価格維持

油脂製品セグメントの営業利益の差異内訳 (08実績 対 09予想)



化成製品セグメント収益力強化策

1. 高機能材料(高付加価値商品)の拡販

1) 基幹事業

① 技術サービス力強化による拡販

- ・食品添加用乳化剤
- ・機能性分散剤他

新規用途・新規市場への展開

- ・有機過酸化物 : 太陽電池封止材用途
- ・特殊防錆剤 : 建築・土木分野
- ・機能フィルム : IFD分野、LCD分野

2) 新規事業

- ① 開発能力強化(人的資源投入)
- ② 営業力強化による顧客数拡大
- ③ 外部組織(大学他)とのコワーク強化

2. 事業効率向上

① VA、VEの推進

② 3極体制の一元管理強化

- ・有機過酸化物事業(生産・販売)
＜日本、中国、インドネシア＞

- ・防錆事業(開発)

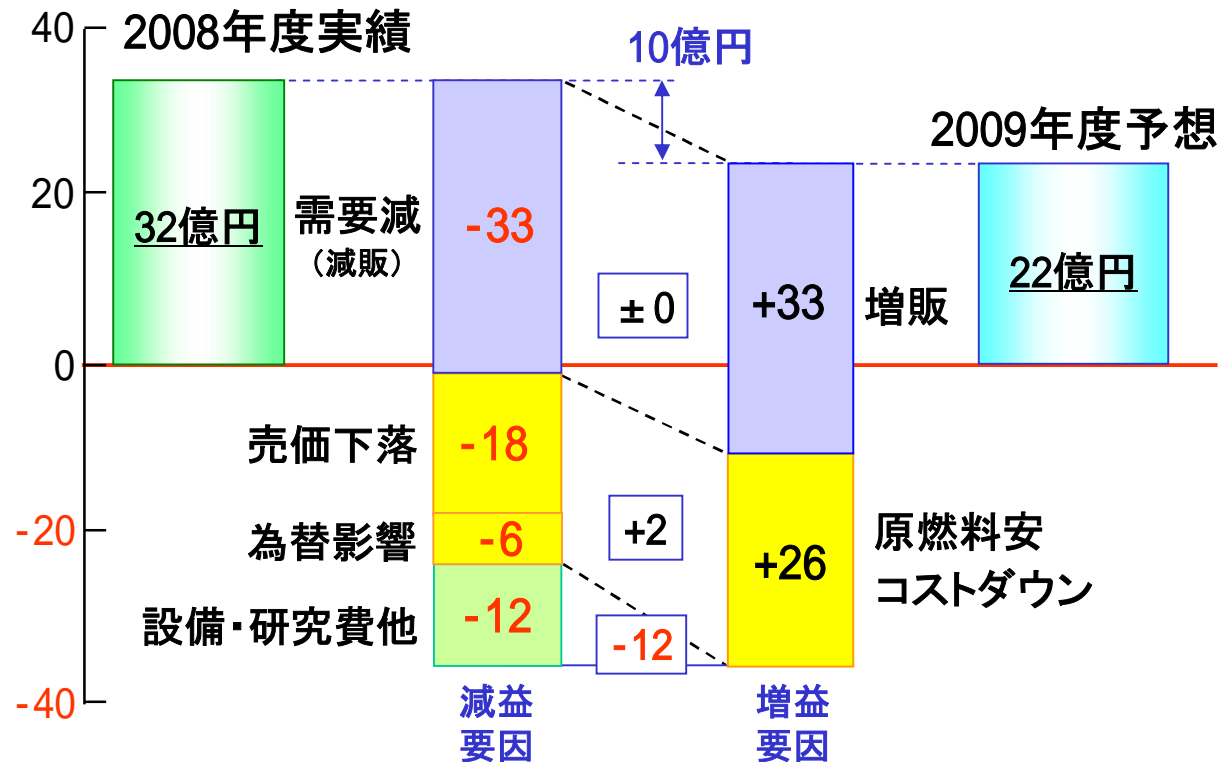
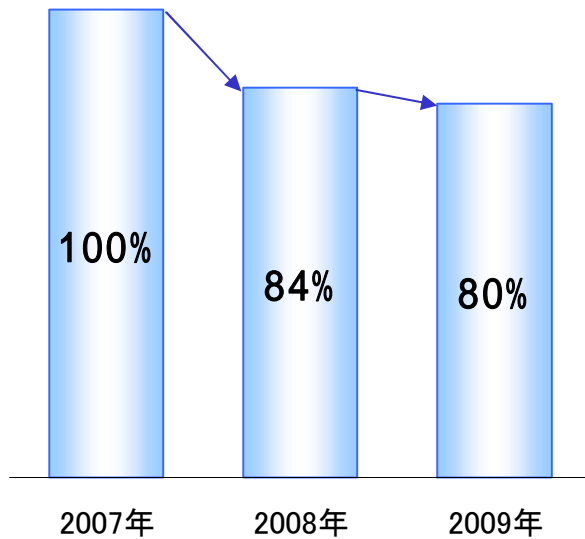
＜日、米、欧＞

③ 既存設備の有効活用

3. 適正価格維持

化成製品セグメントの営業利益差異内訳 (08実績 対 09予想)

販売数量の推移



2009年度 新規3事業の主要施策

ライフサイエンス事業

- ・ソフトコンタクトレンズ洗浄消毒剤市場へ新製品投入
- ・開発品（セラキュート[®]V）のヘアケア市場への展開
- ・衛生、医薬分野へ手指消毒剤、再生医療用細胞培養容器（リピジュア[®]-コート）の拡販



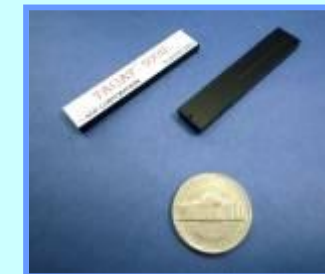
DDS事業

- ・グローバルな営業・技術サービス体制を強化：顧客数拡大
- ・開発人員の強化：新規活性化PEGの開発スピード加速
- ・需要増加対応：川崎事業所DDS工場の生産能力増強（5月稼動）



電材事業

- ・OC材の既存顧客シェア拡大・中国市場への展開
- ・高周波基板関連RFIDタグの市場開拓・上市

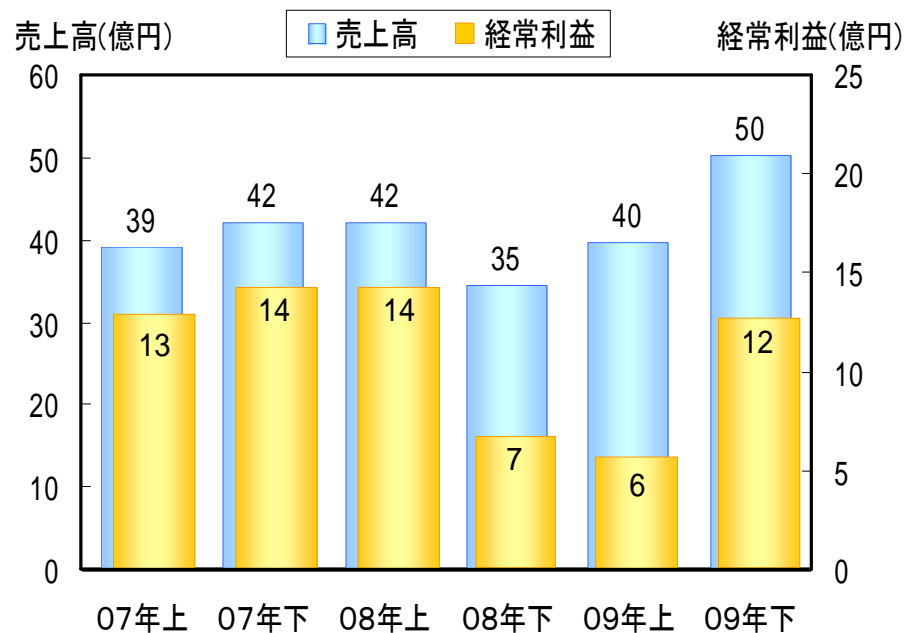


2009年度 新規3事業の業績予想

(ライフサイエンス、DDS、電材)

(単位: 億円、%)

	2008年度 (09/3月期)実績	2009年度 (10/3月期)予想
売上高	77	90
営業利益	21	18
売上高営業利益率	27. 3%	20. 0%



08年度対09年度

- ①円高影響
- ②設備・研究費他増

火薬・加工品セグメント収益力強化策

1. 新規独自商品の拡販

① 海洋分野(火薬機能応用)

- ・海洋環境調査システム機器
- ・海底熱水鉱床開発システム機器

防犯分野(火薬機能応用)

- ・ネットランチャー[®](不審者制圧ネット)
- ・ATM用インク噴射器

建築・土木分野(産業用爆薬周辺事業)

- ・トンネル工事用岩盤固結材
- ・耐震補強工事用セメントカプセル

2. 事業効率向上

- ① VA、VEの推進
- ② 子会社6社間のシナジー向上

3. 適正価格維持

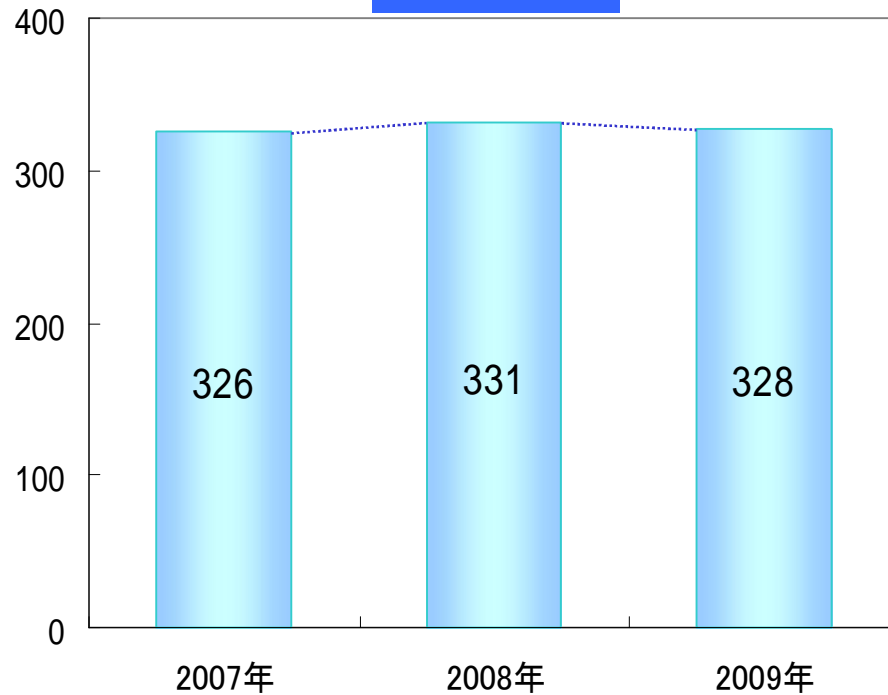
火薬・加工品セグメント業績推移

火薬・加工品セグメント

- 宇宙、防衛 → 安定した需要分野
- 産業爆薬 → 高シェア事業
- 海洋・防犯事業等 → ニッチな成長分野

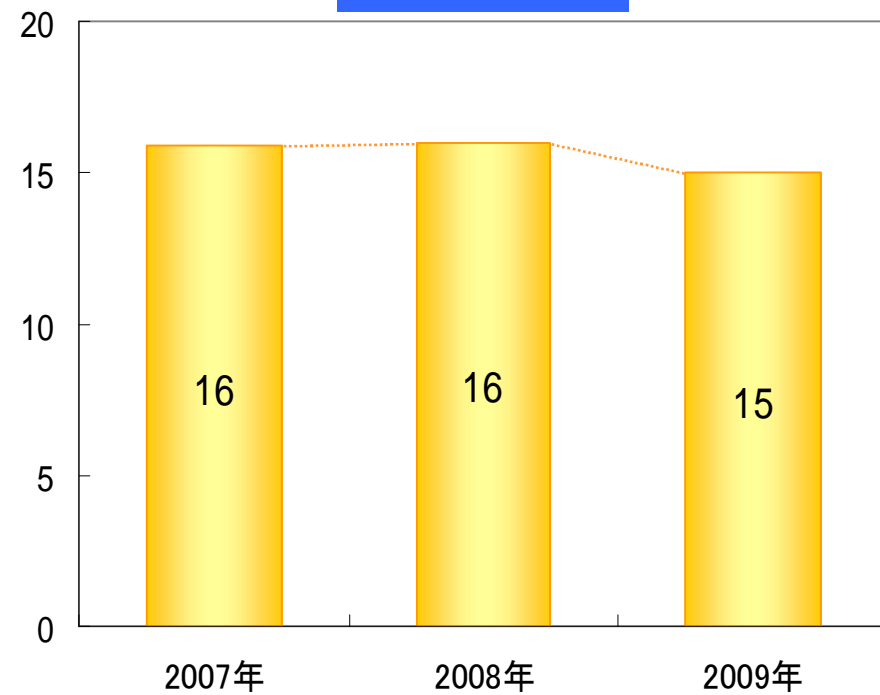
(単位:億円)

売上高



(単位:億円)

営業利益



次世代事業への取り組み



新商品・新材料紹介

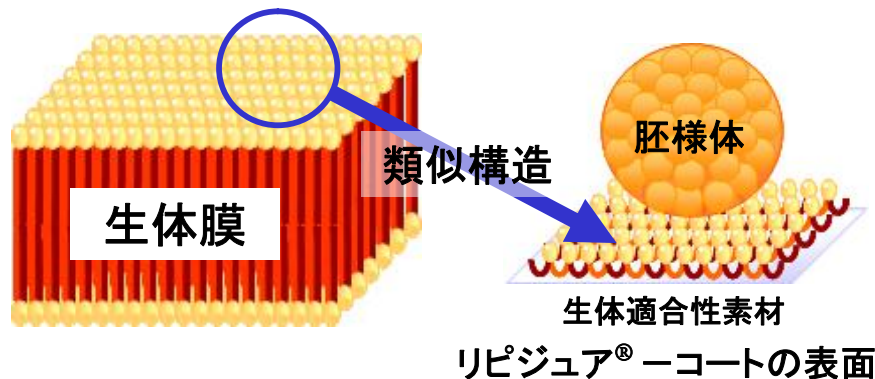
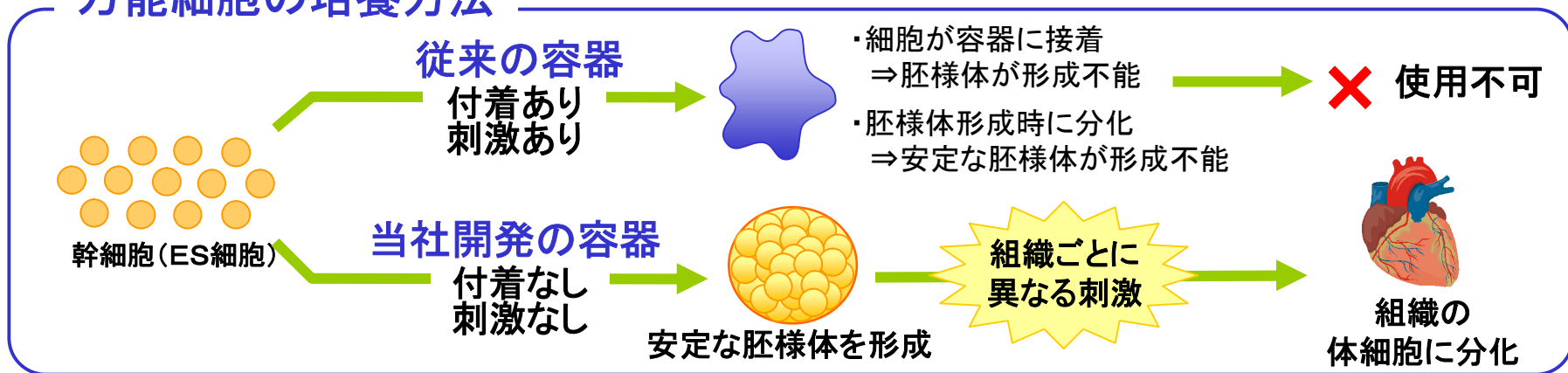
1. 再生医療用細胞培養容器
2. ゲル型Li電池用難燃性電解質材料
3. 海洋開発調査システム機器

1. 再生医療用細胞培養容器

リピジュア®(生体適合性素材)の使用により、再生医療に
必須の胚様体を純粋に培養するための最適な容器を開発

万能細胞の培養方法

再生医療:人工的に成長させた組織を患部に移植して疾患を根治



ディッシュ型



プレート型

研究器具として公的機関(大学)にワーク中

2. ゲル型Li電池用難燃性電解質材料

高い電気特性、耐熱性、安全性を併せ持つ、
新たなゲル型Liイオン電池用電解質材料を開発

〔 産業用蓄電池：産業ロボット用、携帯電話基地局用など
家庭用蓄電池：太陽光発電バックアップ用など 〕

従来のLi電池の問題点

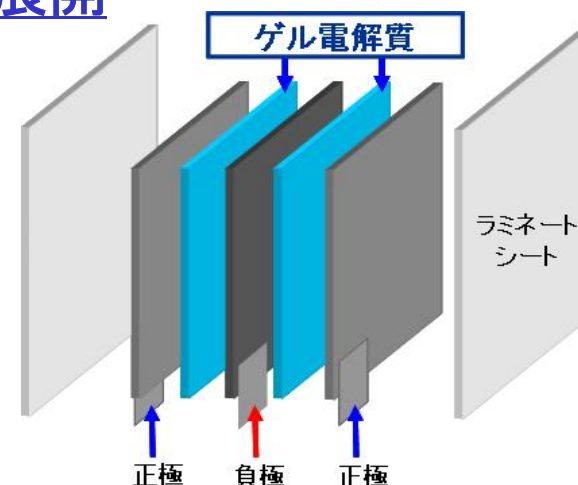
引火性溶媒を使用した液体電解質を使用
使用温度域が狭い、ショートによる発火、
外装強度UPによる重量増

当社開発の電解質材料

低引火性、難燃性
使用温度域が広い、
高い安全性、外装軽量化

ゲル型Liイオン電池用途に展開

電池性能	電池出力	充放電回数	使用温度域	安全性	軽量
特性	イオン伝導性	電氣的安定性	耐熱性	引火性	外装の軽量化
液型Liイオン電池 (従来品)			×	×	×
ゲル型Liイオン電池 (当社電解質材料を応用)					

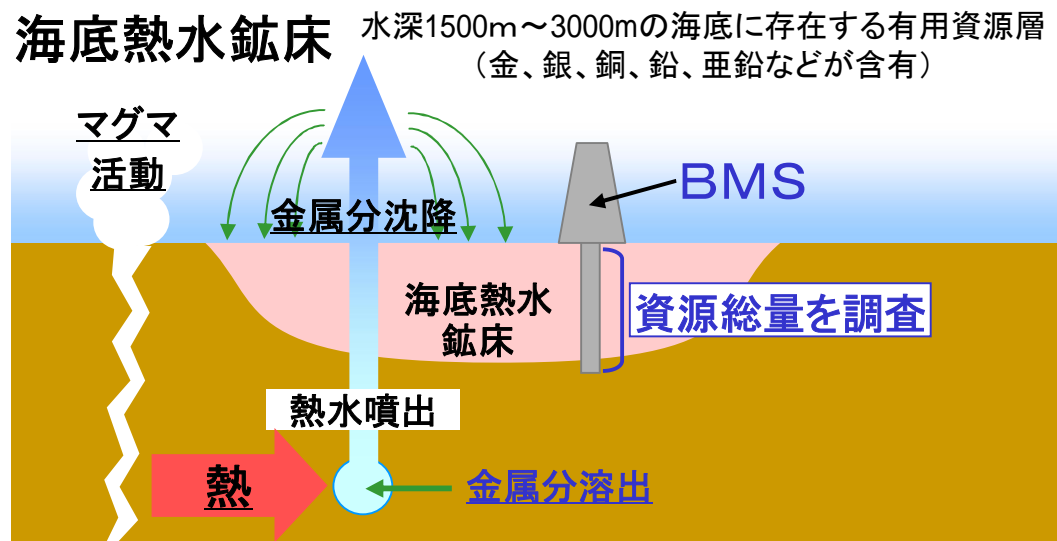


3. 海洋開発調査システム機器

日油グループは、固有の火工品技術を応用した「水中切離装置」の開発を皮切りに、様々な海洋開発調査システム機器の事業を展開

当社の海洋調査用機器製品と用途

- 係留系観測装置、自動昇降装置 → 海洋環境(汚染)調査
- 広帯域地震計、地中温度計 → 海底地震観測
- 深海用ボーリングマシーンシステム(BMS) → 海底熱水鉱床の資源総量調査



5年後の推定市場規模

新商品・新材料	2013年度
再生医療用細胞培養容器	30億円
ゲル型Li電池用難燃性電解質材料	80億円
海洋開発調査システム機器	100億円

コーポレートガバナンス

1. 内部統制の推進

金融商品取引法適用初年度対応

- ・規定類の整備とリスクへのコントロールを徹底
- ・内部統制監査: 重要な欠陥なし
- ・経営者による内部統制報告書で『有効』評価
(6月: 最終評価)

倫理委員会、情報セキュリティ委員会等、各種委員会の委員長を取締役が担当し、企業活動に関する様々なリスク管理を強化

社会規範と企業倫理に則った透明性の高い経営を行いコンプライアンスの徹底を図る。

2. 環境・安全を重視

RC活動を通じ、環境安全、製品安全、設備安全、物流安全、労働安全衛生の5つの安全を徹底。

- 「ジオメット」はメタルコーティングス インターナショナル インコーポレイテッド(MCII)の登録商標です。
 - 「ネットランチャー」は日本工機(株)の登録商標です。
 - 「リピジュア」「セラキュート」は日油(株)の登録商標です。
- その他、本文中に記載の商品名などは各社の登録商標または商標です。

- 本資料はあくまで弊社をより深く理解いただくための資料であって、本資料による投資等何らかの行動を勧誘するものではありません。
- 本資料は、現時点で入手可能な情報に基づいて弊社の判断により作成されておりますが、実際の業績が様々な要素により計画とは異なる結果となり得ることをご承知おきください。
- 本資料のご利用に関しましては、ご自身の判断と責任にてお願いいたします。

お問い合わせ先 : 日油株式会社 経理部 (IR室 金万、根岸)
住 所 : 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番3号
電 話 : 03-5424-6651
F A X : 03-5424-6803
ホームページ : <http://www.nof.co.jp>

END